

# 別紙 「平成30年度 学力向上アクションプラン」

足立区立第六中学校 学校長 柏木圭子

	新 継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 <誰が、何を、どのように>	達成確認方法	達成目標（＝数値） <いつまで・何を・どの程度>
1	新 規	「授業が好き」増 加作戦	全教員	年間	<p>【指導体制】全教科、全教員（担任・副担任）</p> <p>【取組内容・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が主体的に学ぶ授業に改善を図り、授業が好きといえる教科を増やす。</li> </ul> <p>「勉強が好きだ」肯定的回答43%、「授業は楽しい」69%、「教科の勉強が好き」5科平均62.5%「授業で話し合い、発表が好き」55.0%（12月）</p> <p>【授業改善のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的知識・技能の定着を図りつつ、考えたり、話し合ったり、発表したりする力を付ける授業</li> <li>単元のねらいを分かりやすく伝える授業、ふりかえりによって何ができるようになったかが明確になる授業</li> </ul>	○生徒学習アンケートの推移（4月、9月、12月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>「授業が楽しい」肯定的回答80%</li> <li>「話し合い、発表が好き」70%</li> <li>「勉強が好きだ」50%以上</li> </ul>
2	継 続	朝学習 週末テスト	全学年 全員	朝学習（月-木） 週末テスト（金） 始業前10分	<p>【指導体制】全教員（担任・副担任）</p> <p>【ねらい】「書くこと」とおして集中力を高める。朝学習の振り返りをして基礎的知識と技能の定着を図る。</p> <p>【取組内容】計画的に漢字、計算問題、英単語など5教科の基礎的なドリル学習を行う。週末テストで朝学習のまとめテストを行い、相互採点させる。</p> <p>【使用教材】生活ノート、校内作成のワークシート、校内作成のテスト</p>	週末確認テスト	週末テストの正答率80%以上
3	継 続	放課後補充教室	全学年 各学年 30名程度 数学・英語	週3日 （月・火・木） 放課後40分	<p>【指導体制】全教員（担任・副担任）＋学習支援ボランティア</p> <p>【取組内容・ねらい】つまづきのある生徒を中心にできる限りの個別指導とし、学力、学習意欲の向上を目指す。8月までに前学年の内容、9月から当該学年の内容を取り扱う。</p> <p>【使用教材】校内作成のワークシート</p> <p>【改善点】学生ボランティアの拡大、授業内容との連結</p>	「区調査」問題を活用した事後テスト、プレテスト（7月、2月） 定期考査	通過率アップ

5	継続	サマースクール	全学年 各学年 30名程度 国語・数学・ 英語 等	7月の夏季休 業日7日間 各日150分 (50分×3)	【指導体制】各教科担任を中心 【ねらい】区学力調査の結果を基に前学年の既習内容の復習に重点をおき、各自のつまずきの解消を図る。 【使用教材】校内作成のワークシート、市販の教材	サマースクールプ レテストと効果検 証テスト	受講生全員が、効果検 証テストで90%の正 答率
6	継続	学習コンテスト	全学年 国語(漢字) 数学(計算) 英語(スペリン グ)	各教科年3回	【指導体制】各教科担任を中心に全教員 【ねらい】中学3年間で履修すべき語彙力(国語)計算 力(数学)4技能を支える語彙力(英語)を定着させる。 【取り組み】3年間で履修すべき内容を学年別の課題に 取り組む。 【使用教材】校内作成の独自教材	学習コンテストの 結果(学年毎の到達 目標を設定し、その 達成率で評価)	達成率8割以上の生徒 が60%
7	継続	土曜学習講座	1、2年生 40名程度 数学・英語	年10回土曜日 数学 90分 英語 90分	【指導体制】都非常勤講師+民間講師+ボランティア 【ねらい】授業内容の復習を基盤としながら、問題の解 答力を身に付ける。また、数学・英語検定において、各 各自が目標とする級の取得を目指す。 【使用教材】市販の問題集	・受講者へのアンケ ート ・定期考査等の受講 者の平均点の推移 ・数学検定・英語検 定の合格数	・受講者アンケートの 満足度80% ・受講者の平均点+20% ・各自の目標検定合格 率80%以上
8	継続	家庭学習の習慣化	全学年 全員	通年	【指導体制】全学年、全教員 【ねらい】主体的な学習態度の形成(学習のやり方指導) 【取組内容】 ・「家庭学習ガイドブック」を新入生保護者説明会で配 布、説明する。1年入学オリエンテーションで「ガ イドブック」の内容を指導する。週末などを中心に 計画的に宿題や課題を出す。 ・「自主学習ノート」の毎日の提出時の指導をする。 ・考査前期間の「学習計画表」の作成、提出 ・学校だより等を利用し、家庭へ啓発する。 ・英語小テスト→Bノート(英語家庭学習ノート) 【使用教材】「家庭学習ガイドブック」(独自指導資料)、各 教科による教材、課題	・「自主学習ノート」 「学習計画表」の提 出状況 ・生徒学習アンケ ート(家庭学習時間) ・学校評価アンケ ート(保護者)	・各提出状況90% ・家庭学習、週10時間 の生徒40%を50%にす る。